

営業事務の女性によるAI活用!AIと一緒にLPを作成しよう!

Q

GeminiとChatGPTを比較して選ばれたのはGeminiだと思うのですが、以降GPT-5などがリリースされる度に自分に合うAIもアップデートしていく使い方なのでしょうか。それとも1つのAIをクセ?を理解してGeminiを極める。のような使い方なのでしょうか。

A

私は後者、つまりそれぞれのAIツールの特性を理解して、極めていくという考えです。

これまでは業務でChatGPTを1年半ほど使用してきましたが、新しいプロジェクトを始めるにあたり、異なるAIの特性を理解して、より業務効率を高めたいという思いから、新しい挑戦としてGeminiを選びました。

実際に比較検討した結果、Geminiの提案力や対話能力が今回のLP作成プロジェクトに最適だと判断し、メインで使用することに決めました。

もちろん、GPT-5のような新しいバージョンがリリースされると、その都度必ず試すようにしています。しかし、現時点では、データを扱う作業にはChatGPT、そしてアイデア出しや相談業務にはGeminiが適しているという結論は覆っていません。

今後も、新しいAIツールやバージョンの特性を常に把握し、それぞれの強みを活かして使い分けていくことを私のスタイルにしていく所存です。

Q

AIを使って3つのLP試作品を作成したとのことですが、これらの試作品をどのように評価し、最終的にどの案が選ばれましたか？

A

AIで作成した3つのLP試作品は、主にデザイン性、ユーザビリティ、そしてファーストビューの訴求力という3つの評価軸で比較検討しました。

その結果、サービスの顔となるブランドイメージを最もよく表現できていたA案が最終的に選ばれました。Gensparkで作成したこの案は、ターゲットユーザーに強く訴えかけるデザイン性をお客様からも高く評価いただきました。

一方、シンプルで分かりやすいB案は、ファーストビュー上部のフッターメニューがサービス名と干渉し、視認性が低いという点で選考から外れました。また、資料請求ボタンの視認性を高めたC案も、サービス名が左端に寄ってしまい、サービス名が十分に目立たないという理由で選ばれませんでした。

最終的に、サービス全体の印象を左右するデザイン性と、ユーザーに明確にサービス名を伝えることの重要性を考慮し、A案が最も優れていると判断されることとなりました。

Q

試作品を作成した後、LPサイトを公開されたかと思うのですが、その後も特に手を加えていないのでしょうか？デザイナーがというお話もあったので、その後は別の方が担当されたのでしょうか？

A

残念ながら、現時点ではLPの公開（リリース）には至っておりません。

試作品（プロトタイプ）は、お客様とのやり取りを重ねながら私の方で何度か修正を加えました。その後、デザイン担当が本格的なデザイン編集を行い、そのデザインをお客様にお見せしてフィードバックをいただいたところです。

ただいま、そのフィードバックを基に私が最終的なブラッシュアップを進めており、お客様にも最終確認を依頼しています。

この後、お客様からOKが出れば、最終デザイン調整を経て、いよいよリリースとなる予定です。

Q

顧客との正対で苦勞したことはございますか。

A

お問い合わせフォームの設置に苦勞しました。

お客様に気軽に問い合わせていただきたいという思いから、最初は入力項目を最小限に抑えるデザインと一般的な入力項目の2パターンを検討しました。しかし、個人情報保護法や社内のセキュリティ基準に照らし合わせると、どちらも不十分であることがわかりました。ご利用になるお客様の利便性とセキュリティという、相反する要件にどう向き合うかという点で苦勞しました。

その上で、社内のセキュリティ担当者と何度も協議を重ね、お客様にとって必要最低限の項目に絞り込みつつ、安心して入力いただけるような注意書きやプライバシーポリシーへの導線を工夫することで、双方の要件を満たす着地点を見つけることができました。お客様ご自身にもご協力いただき、最終的には、安心してご利用いただけるお問い合わせフォームを完成させることができましたと感じています。

やはり、AIを使うことで、実際に動くプロトタイプをお見せすることができるので、従来のパワーポイントなどを用いた絵や図とは違い、お客様との間に認識齟齬が生まれにくくとてもスムーズなご提案につながりました。